



◆一年間を振り返って

こんにちは。学年末試験も終了し、一息ついている方も多いと思います。

この一年を振り返って、みなさんはどんな一年でしたか？ わたしにとって、この一年はたくさんのお出会いがあり、また様々なことに挑戦した一年でした。その中で、読書ということについて思い返してみると、割と頑張って多くの本を読んだような気がします。もともと本を読むことは好きだったのですが、中学校に上がると部活動をするようになり、毎日学校から帰るとご飯を食べながら眠ってしまうほどへとへとで、本を読む時間が次第に減ってしまいました。

そのまま高校生となり、大学生となったのですが、文学部です。本を読んでなんぼの学部。大学の図書館へ行ってみると、地下3階から8階までびっしり様々な分野の専門書が並んでおり、圧巻でした。そこで再び本の世界へと入って行くことができたら良かったのですが、またもや私は部活動やアルバイトに明け暮れ、文学部で学んでいくために最低限の量の本しか読んでいませんでした。今となって思い返すと、あんなに時間にも余裕があったのに何をしていたのかと、とても後悔しています。

そこで、みなさんにはこの春休みを多くの本に出会い、知り合ってゆく機会にしてもらいたいです。もしかすると、自分の胸にすーっと染みこんでくる運命の一冊と出会えるかもしれません。

勉強をする、部活動に励む、友達と遊んだり家族と旅行に行ったりする、春休みは予定がぎっしりかもしれませんが、夜眠る前ほんの10分、ぼんやりとテレビを見ている10分、なんとなく過ごしてしまっている隙間時間を見つけて、本を読んでみませんか？

北野高校の図書館には本当に多くの本があります。新書も数多く揃っています。これを機にぜひ足を運んでみてください。

今回は皆さんに、古典作品の紹介をしたいと思います。

◆隙間時間に読んでみませんか？

①『古今和歌集』

②『新古今和歌集』

「古典とか難しい」「和歌とかわからんわ」なんて思っている人もいるのではないのでしょうか。ですが、みなさん、和歌ってすごいと思いませんか？ だって、31文字で美しい季節の景観や、相手に恋焦がれる気持ち、思いが届かず苦しい気持ち…。人間の様々な機微を表現し、伝えているのですから。

・行く水に 数書くよりも はかなきは 思はぬ人を 思ふなりけり(『古今和歌集』より)

・春雨は いたくなふりそ 桜花 まだみぬ人に ちらまくもをし(『新古今和歌集』より)

一首目は片思いの切ない気持ちが詠まれた歌です。共感できる人もいるのではないのでしょうか。そして二首目は、桜が咲き誇る季節にしっとりとした柔らかな雨が降りかかる美しい景観が思い起こされますね。他にも素晴らしい和歌がたくさん収められていますよ。1日に一首ずつでも、和歌に触れてみませんか？

◆通学時間に読んでみませんか？

③『日本靈異記』

④『今昔物語集』

代表的な仏教説話集ですね。例えば、とても徳の高い僧の靈驗あらたかな行いについて書かれた伝記や、神や仏の人知を超えた奇跡、また悪徳をはたらいた人物に対する因果応報、中には貴族・皇族のスキャンダルをもとに作られた話などが収録されています。このような説話集を通して、当時の人々(識字層)の思想や、社会のあり方を読み取ることもでき、文学作品としても、史料としても楽しめる書物になっています。一話ずつは短いものが多いので、すぐに読めてしまうのではないのでしょうか。

昔河内国に瓜売りの人有り。名付けて石別いしわけといふ。馬の力を過ぎて重き荷をおほし、馬往かぬときには怒り打ちつかふ。荷をおひて疲れ、両の目に涙を出だす。瓜を売り竟ればすなはち其の馬を殺す。斯くの如く殺すこと多遍にして後に、石別みずからひただ涌きたる釜を臨めば、両の目釜に抜け入りて煮らる。現報はなはだ近し。因果を信へんふべし。畜生を見るときも、我が過去の父母なり。六道四生は我が生まるる家なり。故に慈悲無かるべからず。

(『日本靈異記』上巻より)

馬に対してひどい仕打ちをしていた人物が、生きているうちに罰をうけるという話。当時の人々は、大陸からもたらされた仏教を信仰し、このような説話が語られることで、「悪事を働くと罰が当たる」と教えられ、規律を守っていたのでしょね。

⑤『堤中納言物語』

平安時代末に成立した短編物語集です。ロマンティックな話もあれば、吹き出してしまうような滑稽な話もあり、さまざまな物語が楽しめます。その中でも、宮崎駿氏によって映画化された「風の谷のナウシカ」のモチーフである「虫めづる姫君」も収録されています。

虫、というところにナウシカとの共通点があるように感じますが、それだけではなく、主人公の姫君は自分の目で見て、自分の頭で考え、当たり前だと言われることに疑問を抱く、という性格も共通していますね。(「風の谷のナウシカ」を知らないという方は、ぜひ一度映画を見ることをおすすめします。)

蝶めづる姫君のすみ給ふかたはらに、按察使大納言の御むすめ、心にくくなべてならぬさまに、親たちかしづき給ふことかぎりなし。この姫君ののたまふこと、「人々の、花、蝶、やとめづるこそ、はかなくあやしけれ。人はまことあり、本地たづねたるこそ、心ばへをかしけれ。」とて、よろづの虫の、おそろしげなるを取りあつめて、「これがならむさまをみむ。」とて、さまざまなる小箱どもにいれさせ給ふ。

(『堤中納言物語』「虫めづる姫君」冒頭より)

普通の貴族の姫君であれば、蝶を愛でることが一般的。しかしこの姫は、毛虫など一見おそろしげな虫を好み、集めているのです…。この姫君がどんな言葉を発するのか、またどんな結末を迎えるのか、気になる方はぜひ図書館へ。

◆ちょっと気合い入れて読んでみませんか？

⑥『竹取物語』

日本最古の物語だと言われている『竹取物語』。童話「かぐや姫」にもなっており、知っている人は多いのではないのでしょうか。その内容は、竹の中から生まれたこの上なく美しい姫に五人の男性が求婚するが、難題を課してうまくあしらいます。さらに、うわさを聞きつけた帝からも求愛

されますが、断ります。その実は、この姫は月の住人であり、いずれ月に帰らなければならない運命にあったからです。

姫が月に帰ることになり、姫を育てた翁や媪は悲しみ、また姫を月に帰さないように朝廷から軍までも派遣され…。

童話「かぐや姫」では語られない結末が、描かれていますのでぜひ自分の目で確かめてみてください。

さて、仕うまつる百官の人々、饗いかめしう仕うまつる。御門、かぐや姫をとどめて帰り給はんことを、あかず口おしく覚しけれど、たましいをとどめたる心地してなむ、帰らせ給ひける。御輿にたてまつりて後に、

**帰るさの 行幸物うく おもほえて そむきてとまる かぐや姫ゆへ
御返りごと、**

**葎はふ 下にも年は 経ぬる身の 何かは玉の 台をも見む
これを、御門ご覧じて、いとど帰り給はん空もなくおぼさる。**

(『竹取物語』より、御門とかぐや姫のやりとり)

⑦『源氏物語』

二年生の皆さんは授業で少し読みましたね。『源氏物語』は平安時代に執筆された作品ですが、現在もおなじみ、現代語訳されたり、パロディ本が出版されたり、と根強い人気を誇ります。

時の帝とその帝に寵愛された更衣という身分の女との間に生まれた光君の生涯、そして子孫達の生き様を描いた壮大なスケールの物語となっています。その中でも、宮中生活の華やかな様子や、光君と彼と惹かれ合う多くの女性達との優雅で儂い恋のやりとりなど、魅力的な内容が盛りだくさんとなっています。各人、さまざまな見方、楽しみ方があると思いますのでぜひ一度手にとってみてください。

いづれの御時にか、女御、更衣あまた候ひ給ひける中に、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めき給ふありけり。はじめより我はと思ひあがり給へる御方々、めざましきものにおとしめそねみ給ふ。同じほど、それより下臈の更衣たちは、まして安からず。朝夕の宮仕へにつけても、人の心をのみ動かし、恨みを負ふ積もりにやありけむ、いとあつしくなりゆき、もの心細げに里がちなるを、いよいよ飽かずあはれなるものに思ほして、…

(『源氏物語』桐壺巻より)

ちなみに、『源氏物語』の現代語訳は瀬戸内寂聴訳、与謝野晶子訳、谷崎潤一郎訳などたくさんありますので、同じ話を異なる訳で楽しむことができます。また、漫画になっている『あさきゆめみし』(大和和紀)も図書館に揃っているので、気軽に読んでみてくださいね。

⑧『落窪物語』

十世紀頃に成立した『落窪物語』。この物語を読むと、皆さんは別の物語が連想されるのではないのでしょうか。そう、「シンデレラ」です。

主人公の姫は、母親を早くに亡くし、継母に育てられます。しかし、継母は姫を邪険に扱い、実の娘達の使用人のように接します。姫に与えられた部屋も「落窪」と言われる狭い部屋だけでした。姫は侍女の助けもあり、将来有望な貴公子「道頼」と出会い、結婚の約束をします。しかし、姫が幸せになることが気にくわない継母は、姫と自分の叔父を結婚させようと企みます…。

日本版「シンデレラ」、比較的読みやすい文章となっています。古語単語帳を片手に、読んでみてはいかがでしょうか。

いまはむかし、中納言なる人の、むすめあまた持たまへるおはしき。大君、中の君には婿取りして、西の対、ひんがしの対にはなばなとして住まはせたまつり給ふに、三、四の君、裳着せたまつり給はんとて、かしづきそしたまふ。

又、ときどき通ふ給ふけるわかうどをり腹の君とて、母もなき娘おはす。北の方、心やいかがおはしけむ、仕うまつる御たちの数にだにおぼさず、寝殿の放出の、また一間なる、おちくぼなる所の二間なるになん住ませ給ひける。

(『落窪物語』第一冒頭より)

◆いかがでしたか？

長期貸出が始まっています。4月8日まで借りられます。しかも、10冊まで。(それ以上は要相談！)

①古今和歌集

- ・『新潮日本古典集成』(910/S29/19)
- ・『新潮古典文学アルバム』(910/S44/1-4)

②新古今和歌集

- ・『新潮日本古典集成』上下(910/S29/24-1~24-2)
- ・『新潮古典文学アルバム』(910/S44/1-10)

③日本霊異記

- ・『新潮日本古典集成』(910/S29/67)
- ・『日本霊異記、今昔物語、宇治拾遺物語、発心集』(913/I 58/1)

④今昔物語集

- ・『新潮日本古典集成』(910/S29/16-1~16-4)
- ・『今昔物語集』(081/I 1-6/19-1~19-4)
- ・『新潮古典文学アルバム』(910/S44/1-9)

⑤堤中納言物語

- ・『新潮日本古典集成』(910/S29/56)
- ・『風の谷のナウシカ』(726/M14/1~1-8)

⑥竹取物語

- ・『新潮日本古典集成』(910/S29/26)

- ・『竹取物語、伊勢物語、堤中納言物語、土左日記、更級日記』(913/M82/11)

⑦源氏物語

- ・『新潮日本古典集成』(910/S29/1~1-8)
- ・『全訳源氏物語 上~下巻』(913/Y9/2-1~2-3) ※与謝野晶子訳、書庫にあり。
- ・『源氏物語 全』(913/M58/1) ※谷崎潤一郎訳
- ・『源氏物語 巻1~10』(913/S58/5-1~5-10) ※瀬戸内寂聴訳
- ・『窯変源氏物語 Tome 1~14』(913/H39/1-1~1-14)

⑧落窪物語

- ・『新潮日本古典集成』(910/S29/)
- ・『新版落窪物語 上下』(910/S74/A180-1~A180-2)

*その他

- ・『日本の恋の歌~恋する黒髪』(911/B4/3)
- ・『日本の恋の歌~貴公子達の恋』(911/B4/2)
- ・『千年の百冊』(910/S75/1)

※()内は請求番号